アヴニール労務事務所 所長 柿野元博
http://www.avenir-sr.jp
E-Mail avenir4you@gmail.com

編集後記　はじめて君を知りぬ

♪すみれのはーなー咲ーくころ　はじめて君を知りぬ。※♪

宝塚歌劇団の「宝塚音楽学校」で４月 19 日 入学式がありました。

　宝塚歌劇には、手塚治虫さんの「リボンの騎士」のサファイア王子（姫）のイメージがあります。サファイアは、男性しか王位につけない王家に生まれた、男装のお姫様。強い剣士でもあります。宝塚音楽学校に入学された皆さんには「リボンの騎士」のように、美しく、カッコよく、そして何より強く頑張ってほしいものです。そういや宝石のサファイアって、すみれの花の色に似ています。すみれって、アスファルトの隙間からも咲くことがある、可憐に見えて実は強い花ですからね。(^_-)-☆

※宝塚歌劇団を象徴する歌「**すみれの花咲く頃**」の一節
作詞：Fritz Rotter・白井鐵造 作曲：Franz Doelle.

　「女は女らしく」、「男は男らしく」。
一応僕もそう言われて育った昭和の人間。それにしてはあまり男らしくなくて、ごめんなさいです。σ(^_^;)
最近、男親の視点からその弊害を説いた本を知りました。
「**男の子をダメな大人にしないために、親のぼくができること**」（アーロン・グーヴェイア著）。
著者が問題視しているのは、アメリカで根強く残っている「有害な男らしさ」。
例えば、「助けを求めないのが男らしい」という意識は、男性の自殺率の高さに結びつく（男性の自殺は女性の 3.5 倍）。乱暴であっても「男の子なんだからしょうがない」という考えは、女性や子どもを対象とした暴力犯罪やハラスメントに結びつく（銃乱射事件の加害者はほぼ男性）等と著者は語ります。

「男らしさ」を全て否定するものではありません
アーロン・グーヴェイア
上田勢子
平凡社

　その「有害な男らしさ」は、武士道文化のあった日本にもいえること。３月 29 日に厚労省と警察庁から発表された「令和５年中における自殺の状況」では、日本の自殺者の７０％近くを男性が占め、さらに勤務問題を原因とする自殺になると、男性が８５％強を占めると報じています。

　日本女子カーリング界のエース的存在の藤澤五月さん。ジュニア時代から「天才」と言われていた彼女は高校卒業後入社した中部電力でも活躍し、2011 年から日本選手権４連覇。しかしオリンピック予選では国内のチームに負け、さらに日本選手権の５連覇を逃すと、自信を失った彼女は退職し、しばらくカーリングとも距離を置いていました。
失意の底にいた彼女に、手を差し伸べたのが、チーム「ロコ・ソラーレ」でした。
試合中でも快活に笑い会話が絶えないそのチームは、2018 年平昌五輪で銅、2022 年北京五輪で銀メダルと躍進し、日本のカーリングのレベルを世界水準にまで押し上げる、強いチームとなりました。
移籍後、彼女は「**強い自分を演じるのではなく、弱い自分を見せられるようになった**。」と語っています。
「弱みを見せられる」ロコ・ソラーレのチームの土壌が、藤澤選手のさらなる強さを引き出し、チーム全体の成長につながったのだと思います。(^o^)v

自分の弱点をさらけ出さずに人から利益を受けられない。
自分の弱点をさらけ出さずに人に利益を与えられない。　　とは**夏目漱石**の言葉です。

　時にはクヨクヨしたっていい。助けを求めたっていい。失敗も隠さず共有する。
同じ目的を共有する者たちが、自分の弱さ、お互いの弱さを知り、励ましあったり応援しあったりカバーしあったりすることで距離が縮まり、関係性が深まります。
昨年の WBC の侍ジャパンもそうでしたが、同じ目的に向かう**人間関係のいいチームは強いチーム**です。

　え？僕の弱点ー(@_@;)？
んー、高所恐怖症、方向音痴、すぐ忘れる、名前が出てこない、血を見たら気が遠くなる、激辛 NG、人混みが少し苦手、遊園地の怖い乗り物 NG、熱い物が持てない、車の運転ができない。あっはっはー(^^;
まだまだ書ききれない。ま、「こーんな僕デス。よろしく頼みます※」♪

※ みんなのうた「はじめての僕デス」より
（作詞：関沢新一 作曲：中村勝）